

平成
27年度

和歌山染工株式会社

生産性・品質・コストでの優位性を向上させるデジタル^{なっ}捺染システムの構築

会社紹介

“染色一筋”で業界をけん引してきた100年企業
「技術」と「感性」で捺染の最先端に挑み続ける



取締役社長室長
経営企画・人事労務担当

松本 卓也

地場産業の一つである染色業で、明治40年に創業。和歌山県100年企業として表彰され、長寿経営の秘訣(ひけつ)を、「現場主義を徹底、経営と現場の距離をなくし、また時代のニーズに敏感に反応し、技術力の向上と設備投資に取り組んだこと」と述べる。染色加工一筋の経営で培った「技術」と、長年受け継がれてきた職人の「感性」を武器に、近年では企画・デザインの分野にも参入。またデジタル捺染を早くから採用していることでも知られる。

主要製品は布団側地、アパレル服地、インテリア、雑貨など。また、企業ブランド力強化の一環として、老舗ならではの企画提案力の高さを反映させたファクトリーテキスタイルブランド「RIEKA」「和歌和花」を平成27年に立ち上げ、同社オンラインショップ等で販売。環境保全にも会社一丸で取り組み、生産活動から排出される布や染料の残液は可能な限り再利用するリサイクル形成を行っている。

補助事業

最新鋭デジタルプリンターで
生産と品質のさらなる向上を

同社ではフラットスクリーンやロータリーのアナログプリントを主流で行っている一方で、国内でいち早く量産型デジタル捺染装置も導入し、さまざまな顧客の依頼に対応してきた。

今回の事業で購入した、株式会社ミヤコシ製の「インクジェット捺染プリンター」(MTP-1800)は、粒状感のない高濃度で高精細な色表現が可能な最新型で、生産性と品質の両面で優位性を大幅にランクアップさせることができる。そのため、良質の製品を生地見本として既存顧客に評価してもらえると同時に、海外を含めた多種多様な展示会に出展するなどして、新規顧客の獲得を推進し、受注増・収益性の向上にもつなげることを目的としている。



成果

月産50,000m以上の加工実績
大手顧客からも高評価を得た色表現

導入した「インクジェット捺染プリンター」は1時間で800平方mの印刷が可能で、同社既存機と比較すると生産性が2倍にアップ。また、色表現に関しては、倉敷紡績株式会社のデジタル捺染システムを採用したため、クオリティーが劇的に上がった。実際に、デジタルプリント事業の顧客である大手商社から、「細線がきれいにできている」「黒系の濃色が以前よりパンチが効いている」「粒状感がなく、インクジェットだと分からないほどよく仕上がっている」などの高評価を受けている。また、IoTによるメンテナンス効率化や生産スピードアップによるコストダウンも実現できた。

すでに月産50,000m以上の加工実績があり、それ以上の注文にも対応が可能。サンプル用の小ロットから大量生産まで受注幅が広く、シーズン中の追加など、ファッション業界のさまざまなニーズにも応えられる柔軟性が自慢だ。



今後の展開

海外のアパレル市場も
視野に入れて販路開拓

同社がターゲットとしている反応染料プリントの衣料分野でのデジタル捺染市場は年々成長していることから、国内はもちろん、海外のアパレル市場でも受注推進を行っていく。

また、従来からの同社の特長である、幅広い風合い加工技術を複合させて、新分野の開拓を展開したいと考えている。具体的には、スカーフやマフラー、ベビー用品などに進出するなど、新しい取り組みにも前向きな姿勢を見せている。

会社概要

会社名	和歌山染工株式会社
代表者	代表取締役社長 高垣 佳宏
所在地	和歌山県和歌山市納定32
資本金	5,000万円
従業員数	150名
業種	繊維加工業
設立年月日	大正10年10月
TEL	073-471-5151
FAX	073-471-5158
URL	http://wsk.co.jp/